

WHO ファクトシート

デング熱及び重症デング熱

Dengue and severe dengue

2017 年 4 月

重要な事実

- ・デング熱は蚊が媒介するウイルス感染症である。
- ・これはインフルエンザのような疾病を引き起こし、時に重症デング熱と呼ばれる死に至る合併症に発展することがある。
- ・過去数十年間で世界のデング熱の発生は劇的に増加してきている。世界の人口の半分は罹患リスクに曝されている。
- ・デング熱は熱帯および亜熱帯気候の地域に見られ、多くは都市部及び半都市部の地域で見られる。
- ・重症デング熱は、アジアやラテンアメリカのいくつかの国では、子供の重篤疾病と死亡の主要な原因となっている。
- ・デング熱、重症デング熱に特異的な治療法はない。しかし早期発見と適切な医療へのアクセスによって死亡率は 1% 以下に低下する。
- ・デング熱の予防とコントロールは、ひとえに効果的な媒介蚊対策にかかっている。
- ・デング熱ワクチンは、流行地域に住む 9 歳から 45 歳年齢層の人々に使用することについて既に数カ国の管理当局で認可されている。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Dengue and severe dengue ファクトシート原文は [こちら](#)